

育児休暇に関する男性の意識調査

#4110
2004.12

コンピュータNo.				

< ご協力のお願い >

日頃より弊社の各種調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

今回は、「男性の育児休暇」についての意識調査をお願いすることになりました。この調査は、未就学児の父親（サラリーマン）を対象として、男性の育児休暇取得の実態と意識を明らかにするためのものです。

年末の何かとご多忙の折に、勝手なお願いで恐縮ですが、是非ともご協力下さいますようお願い申し上げます。

以下の回答要領に従って、各質問にご回答いただき、同封の返信用封筒（切手は不要です）にてご返送ください。投函締め切りは、12月20日ですので、よろしくお願いいたします。

尚、同封の図書券はご協力の謝礼です。ご笑納ください。

< 回答要領 >

- ◎ ご回答は、あなた様（未就学児のお子様のお父様）がご自身でご記入ください。
- ◎ 回答項目が用意されている質問では、適する項目を選び、その番号を○で囲んでください。
- ◎ 回答項目が用意されていない質問では、回答欄にあなたのお考えを具体的にご記入ください。
- ◎ 質問文の最後に、（○は1つだけ）と書かれている質問では、回答項目の中から最も適するものを1つだけ選んでください。
- ◎ 適する回答項目がない場合は、「その他」の番号を○で囲み、（ ）の中に具体的に回答を記入してください。
- ◎ その他、ご質問やご不明な点については、下記までお問い合わせください。

株式会社 マーケティング・サービス

東京都中野区本町4-44-13 西京城西ビル

電話 03-3383-2361

担当 内藤 直範

はじめに、出産休暇についてお伺いします

問12) あなたは、日本でも子供が生まれる時、父親も出産休暇がとれることを知っていますか。 (○は1つだけ)

1. 十分知っている 2. 聞いたことはある 3. 全く知らない

問13) 一番下のお子様が生まれた時、あなたは出産休暇をとりましたか。 (○は1つだけ)

1. とった → 付問1) とった日数をご記入ください (____日)

2. とらなかった

付問2) 一番下のお子様が生れた時、父親も出産休暇がとれることを知っていましたか。 (○は1つだけ)

1. 十分知っていた 2. 聞いたことはあった 3. 全く知らなかった

育児休業制度についてお伺いします

<知人の会社では、育児休暇(業)の他に育児時間(勤務時間中の)・育児のための短時間勤務などの制度があるそうです。その場合、休暇がとれる期間と他の制度の取得可能期間は異なります。以下の質問では、育児休業という言葉をお使いですが、育児休暇だけを育児休業制度と考えるのでしょうか。また、一般の人には、育児休暇という言葉になじみがあり、育児休業制度といわれると、育児休暇とは違うものだと考えるかもしれませんが、育児休暇と育児休業は意味が違うのでしょうか。上の質問の出産休暇との関係も考慮する必要があるように思いますがいかがでしょうか。>

問14) 育児休業制度は、子供が何歳になるまで利用できる制度だと思いませんか。
わからない方は「x. わからない」に○をつけてください。 (数値で記入)

歳まで x. わからない

<育児休暇と育児休業との関係とも関連しますが、問4と問5の意図がよくわかりません。問3があれば十分かと思いません。いかがでしょうか>

問15) 法律では、1人の子供につき、育児休業を何回取得できると思いませんか。
わからない方は「x. わからない」に○をつけてください。 (数値で記入)

回まで x. わからない

問16) 法律では、育児休業を最長何年までとれると思いませんか。 (数値で記入)

年まで x. わからない

問17) 育児休業中も社会保険料は払う必要があると思いませんか。(○はひとつだけ)

1. あると思う 2. ないと思う 3. わからない

追加質問) 法律では、女性と同じように男性も育児休暇がとれることを知っていますか。 (○は1つだけ)

1. 十分知っている 2. 聞いたことはある 3. 全く知らない

問18) 配偶者が育児休業をとっている期間中に、男性も育児休業をとることができると思いますか。(〇は1つだけ)

1. できると思う 2. できないと思う 3. わからない

問19) 配偶者が専業主婦の場合でも、男性(父親)が育児休業をとることができると思いますか。(〇は1つだけ)

1. できると思う 2. できないと思う 3. わからない

問20) 事業主は、育児休業をとったことを理由に、その人の昇進を遅らせることができると思いますか。(〇は1つだけ)

1. できると思う 2. できないと思う 3. わからない

あなたの育児休業取得状況についてお伺いします

問21) あなたは自分が育児休業をとる場合の手続きの方法を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. よく知っている 2. あまり知らない 3. ほとんど知らない・わからない

問22) あなたの職場では、子供が何才になるまでの間、最長何ヶ月の育児休業がとれますか。
わからない方は「x. わからない」に〇をつけてください。(数値で記入)

最長 ヶ月 歳まで x. わからない

問23) 一般論として、父親(男性)が育児休業をとることについてどう思いますか。(〇は1つだけ)

1. 非常に好ましい 2. やや好ましい 3. あまり好ましくない 4. 全く好ましくない

問24) もし、あなたの同僚(男性)あるいは部下(男性)が育児休業をとりたと言ったら、どう思いますか。(〇は1つだけ)

1. 非常に好ましい 2. やや好ましい 3. あまり好ましくない 4. 全く好ましくない

問25) あなたの事業所の男性で、育児休業をとった人がいますか。(〇は1つだけ)

1. いる 2. いない・わからない → 問15へ

付問1) 育児休業をとった男性は、何人くらいですか。(数値で記入)

人くらい

問26) あなたご自身は、育児休業をとりましたか。(〇はひとつだけ)

1. とった
2. とることを望んで相談したが、とれなかった → 問27へ
3. とることを検討したが、とらなかった → 問27へ
4. とることを望まず、とらなかった → 問27へ

付問1) どのくらいの期間とりましたか。二回以上とった場合は、一番下のお子様の場合の期間をご記入ください。
(数値で記入)

ヶ月間

付問2) 育児休暇をとってよかったと思いますか。それともとらない方がよかったと思いますか。(○は1つだけ)

1. とってよかったと思う 2. とらないほうがよかったと思う

問27) あなたの奥様は、育児休業(出産休暇以外に)をとりましたか。(○はひとつだけ)

1. 期間いっぱいとった
2. とったが、期間いっぱいではない
3. とることを望んだが、事情がありとれなかった
4. とることを望まず、とれなかった
5. 専業主婦なので関係ない

問30) お子様生まれる前、奥様はあなたが育児休業をとることを望みましたか。(○はひとつだけ)

1. 望んだ 2. 望まなかった 3. わからない

男性の育児休業取得の促進についてお伺いします

問31) あなたの事業所のトップは、育児休業制度の利用促進にどのような態度で臨んでいますか。

(○は1つだけ)

1. 利用に積極的 2. 利用に消極的 3. 制度そのものに無関心

問37) 次のうちどれを実現することが、あなたの職場の男性の育児休業取得につながるとお考えですか。

(○はいくつでも)

1. 休業中の代替要員を用意する
2. 父親が取得すべき最短期間を設定して強制的にとらせる
3. もっと簡単にとれる制度に改める(? 具体性に欠け、意味が分かりにくい) →取得手続きを簡単にする
4. 柔軟で多様なメニューのある制度に改める
5. いずれもつながらない

問48) どのような仕組みができれば、あなたの職場で男性の育児休業の取得が促進されると思いますか。

(○はいくつでも)

1. 代替要員を用意する
2. 取得すべき最短期間を設定して強制力のあるルールを作る
3. 柔軟で多様なメニューを提示する
4. 希望する人は必ず取れるようにする
5. 幹部に対して、育児休業取得理解のための研修を行う
6. 育児休業補償の額を増やす
7. 昇進の査定にマイナスの影響を与えないことを確約する
8. 昇進の査定にプラス加点する
9. 育児休業を取得した人は、その期間相当分、定年を延長する
10. 育児休業期間に、新たな資格を取得するための奨学金制度を設ける
11. 1つもない

← 問37と同じ?

問34) a～gの育児休業メニューのうち、あなたの職場でこのメニューなら男性がとりやすいと思われるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

付問1) 問34で選んだ育児休業のメニューそれぞれについて、期間はどのくらいがとりやすいですか。あなたの職場で男性がとりやすいと思われる期間を選んでください。(それぞれ○はいくつでも)

問34 (育児休業メニュー)	付問1 (期間)		
a. 期間中は完全に休む →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
b. 週に2日休む(週3日勤務) →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
c. 週に1日休む(週4日勤務) →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
d. 週に2回、半日休む →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
e. 週に1回、半日休む →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
f. 期間中は1日の労働時間短縮 →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
g. 期間中は残業免除 →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間

問35) a～gの育児休業メニューのうち、あなたがとるとしたらとりたいと思うものに○をつけてください。(○はいくつでも)

付問1) とりたいメニューで、あなたがとりたい期間をお答えください。(それぞれ○はいくつでも)

問35 (育児休業メニュー)	付問1 (期間)		
a. 期間中は完全に休む →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
b. 週に2日休む(週3日勤務) →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
c. 週に1日休む(週4日勤務) →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
d. 週に2回、半日休む →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
e. 週に1回、半日休む →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
f. 期間中は1日の労働時間短縮 →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間
g. 期間中は残業免除 →	1. 1年間 2. 半年間	3. 3ヶ月間 4. 1ヶ月間	5. 2週間 6. 1週間

問36) 「男性がとる育児休業」という言葉であなたが思い浮かべるのは、どのような内容のものでしょうか。
以下の育児休業メニューと期間の組み合わせでお知らせください。

育児休業メニュー (○は1つだけ)	期間 (○は1つだけ)
1. 期間中は完全に休む	1. 1年間
2. 週に2日休む (週3日勤務)	2. 半年間
3. 週に1日休む (週4日勤務)	3. 3ヶ月間
4. 週に2回、半日休む	4. 1ヶ月間
5. 週に1回、半日休む	5. 2週間
6. 期間中は1日の労働時間短縮	6. 1週間
7. 期間中は残業免除	

問32) 今日、職場で求められる能力と、家庭で伸ばされる能力は重複する部分が多くなっています。
あなたの事業所のトップは、それを十分理解していると思いますか。(○はひとつだけ)

1. 十分に理解している 2. 少しは理解している 3. 全く理解していない

問38) 経営者・事業所トップにとって、a～lまでのような育児休業制度のメリットは、どの程度期待できると
思いますか。それぞれについてあてはまるお気持ちを1つずつお知らせください。(それぞれ○はひとつずつ)

	1. 大いに期待できる	2. 少し期待できる	3. ほとんど期待できない
a. 育児経験をから得たアイデアを仕事に活かす	1	2	3
b. 育児休業を通じて広げた人間関係を仕事に活かす	1	2	3
c. 育児休業を利用することによって、従業員が効率よく働くようになる	1	2	3
d. 仕事と育児のストレスからくる従業員のうつ病を防ぐことができる	1	2	3
e. 育児ストレスによる家庭問題で、従業員の仕事の能率が下がるのを防ぐ	1	2	3
f. 育児に関われないことへの不満がもたらす従業員のストレスを減らす	1	2	3
g. 家庭を大事にする有能な人材を集めることができる	1	2	3
h. 職場への愛着を高める	1	2	3
i. 仕事に対する熱意を高める	1	2	3
j. 職場の業績アップにつながる	1	2	3
k. 企業の社会的イメージアップにつながる	1	2	3
l. 少子化対策に協力することにより企業としての社会的責任を果たす	1	2	3

問39) (今後、あなたに子供が生まれると仮定してお答えください)

あなたが今後育児休業をとるとしたら、次のうちどれが最も大きな取得理由になると思いますか。

(○は1つだけ)

1. 育児をしてみたいから
2. 育児休業を取って欲しいという配偶者の希望にそうため
3. 配偶者の負担を軽減するため
4. 配偶者との良好な関係を保つため
5. 配偶者よりも自分の職場の方がとりやすいから
6. 前回、配偶者がとったから
7. その他 ()

育児・子育てについてお伺いします

問28) 子育て期間中に、あなたが残業で11時過ぎ(深夜)に帰宅する日が続くと、奥様や家族との関係にどのような影響がありますか。あてはまるもの全てお知らせください。(○はいくつでも)

1. 妻との関係が悪化する
2. 子供との関係が悪化する
3. 家庭内に自分の居場所がなくなる
4. 子供の成長に十分かかわれず、不満を感じる
5. 夫としての責任を十分果たせず、後ろめたく感じる
6. 精神的にゆとりを失うように感じる
7. 特に大きな影響はない
8. その他 ()

問29) お子様生まれた後、以前と比べて奥様との関係は変わりましたか。(○はひとつだけ)

1. 良くなった 2. 変わらない 3. 悪くなった

問32) あなたは、育児についてどう思いますか。以下のa～fまでの項目毎にお知らせください。

(それぞれ○は1つずつ)

	1 そう思う	2 どちらとも いえない	3 そう思わない
a. 育児の上手・下手に男女の差はない	1	2	3
b. 育児は男性がするより女性がした方がうまくいく	1	2	3
c. 父親も育児をすることにより、父親と子供と良好な関係を築くことにつながる	1	2	3
d. 幼児期の良好な親子関係は、思春期の良好な親子関係をもたらす	1	2	3
e. 育児を通じて父親も成長する	1	2	3
f. 仕事のできる男性は育児も上手である	1	2	3

問33) 子育てをすることで、次の各項目のようなことを実感したことがどの程度ありますか。(それぞれ○は1つずつ)

	1 よくある	2 たまにある	3 全くない
a. 子供の反応が楽しい	1	2	3
b. 将来への不安が膨らむ	1	2	3
c. 先のことが楽しみになる	1	2	3
d. 家族のためにがんばろうと思う	1	2	3
e. 周りからの視線が気になる	1	2	3
f. 充実した時間がもてる	1	2	3
g. 人間としての幅がひろがる	1	2	3
h. 気分転換になる	1	2	3
i. 予期せぬことが起きても対処できる自信がついた	1	2	3
j. 決断力がついた	1	2	3
k. 職場で以前より頼りにされるようになった	1	2	3
l. 家族から以前より頼りにされるようになった	1	2	3
m. どんな相手にでも、わかりやすく丁寧な説明をするようになった	1	2	3
n. 思い通りにならないことに対して我慢強くなった	1	2	3
o. 子供の成長のすばらしさに感動した	1	2	3

問40) 子供の世話をすることから仕事に役立つヒントを得たことがありますか。(○はひとつだけ)

- 1. 時々ある
- 2. たまにある
- 3. ほとんどない → 問41へ

付問1) それはどういったものでしょうか。具体的にお知らせください。

問41) 政府の調査結果で、女性からみた結婚相手の条件として、「家事・育児への姿勢や能力」が大幅に重視されるようになっていきます。あなたはこの条件を満たしていると思いますか。(○はひとつだけ)

- 1. 思う
- 2. 思わない

付問1) では、このような条件が重視されることについてどう思いますか。(○はひとつだけ)

1. 当然だと思う
2. 女性の勝手な言い分だと思う
3. 非現実的だと思う
4. その他()

問4 2) 仕事と家庭の関係について、以下の a ~ f の意見があります。それぞれについて、あなたはどのように思いますか。(それぞれ○はひとつずつ)

a. 家族の幸せと仕事の成果は密接に結びついている	1. そう思う 2. そう思わない
b. 配偶者との関係がうまくいかないと仕事の能率にひびく	1. そう思う 2. そう思わない
c. 配偶者との関係が良好だとやる気がおこり、仕事もうまくいく	1. そう思う 2. そう思わない
d. 家族の問題を職場に持ち込むべきではない	1. そう思う 2. そう思わない
e. 家庭を大切にすることは、職場ではあまり評価されない	1. そう思う 2. そう思わない
f. 家庭を大切にすることの方が仕事もよくできる	1. そう思う 2. そう思わない

問4 3) 以下の項目について、あてはまるかどうかお知らせください。(それぞれ○は1つずつ)

a. 自分が家にいる時間が長いと、配偶者の子供に接する態度が優しくなる	1. そう思う 2. そう思わない
b. ひどく疲れて帰宅しても、子供の笑顔を見ると、疲れがとれる	1. そう思う 2. そう思わない
c. 休みの日に家にいることが多いと、配偶者の機嫌が良くなる	1. そう思う 2. そう思わない
d. 家庭と職場は、それぞれ関係なく、全く別々のものだ	1. そう思う 2. そう思わない
e. 仕事上のことや職場の人間関係で気分が落ち込んだとき、 家族が気持ちの支えになる	1. なる 2. ならない
f. 家族が病気の時、仕事が手につかないことがある	1. ある 2. ない
g. 家族が病気の時、頼まれた残業を断っても早く帰ったことがある	1. ある 2. ない

問4 4) 次のうち、あなたが子供との約束より優先させるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 残業 | 4. 上司とのつきあい |
| 2. 飲み会 | 5. 取引先との打ち合わせ |
| 3. 部下の相談事 | 6. 1つもない |

問4 5) 次のうち、あなたにとって最も大事なことは何ですか。(○はひとつだけ)

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 自分の健康 | 4. 経済的安定 |
| 2. 家族の幸せ | 5. 時間的ゆとり |
| 3. 昇進 | 6. 友人に恵まれること |

問46) 次のうち、あなたに「明日も頑張ろう」という元気を最も強くくれるものを1つだけ選んでください。(○はひとつだけ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 家族 | 5. 仕事のおもしろさ |
| 2. 上司の激励 | 6. 職場での評価 |
| 3. 昇進 | 7. 仕事の達成感 |
| 4. 昇給 | |

問47) 子供をあなた一人でみている時に、不安を感じることはありませんか。
(ある場合) それはどんな時ですか。具体例をひとつ挙げてください。(○はひとつだけ)

1. ある → (具体的に: _____)
2. ない

問49) 子供を持ったことにより、あなた自身に実現できたと思うことはありますか。以下のa~iの項目それぞれについてあてはまるお気持ちをお知らせください。(○はそれぞれひとつずつ)

a. 視野が広がった	1. そう思う	2. そう思わない
b. 新たな生き甲斐ができた	1. そう思う	2. そう思わない
c. 家庭での責任感が強まった	1. そう思う	2. そう思わない
d. 職場での責任感が強まった	1. そう思う	2. そう思わない
e. 職場でのリーダーシップ能力が向上した	1. そう思う	2. そう思わない
f. 家庭でのコミュニケーション能力が向上した	1. そう思う	2. そう思わない
g. 職場でのコミュニケーション能力が向上した	1. そう思う	2. そう思わない
h. 家族の絆が深まった	1. そう思う	2. そう思わない
i. 夫婦の絆が深まった	1. そう思う	2. そう思わない

問50) これまでの研究で次のようなことが明らかになっています。

父親が育児に関わると

- ①子供の言語能力の発達が促される
- ②子供の社会性の発達が促される
- ③子供の注意散漫、反抗的な行動が抑制される

しかし、多くの父親は子供と十分に接触することができないのが現状です。こうした状況を解消するために、あなたはどのような方法を取りたいと思いますか。2つまでお知らせください。

1. 子供と接するために昇進をあきらめる
2. 収入は減っても、子供と接するために残業はしないようにする
3. 子供と接するために、職場の付き合いをできるだけ断るようになる
4. 子供を幼児教室など父親代わりのいる所に参加させる
5. ゆとりのある職場へ配置転換を希望する
6. ゆとりのある職場に転職する
7. 職場の近くに引越しをする
8. 組合に働きかける

問5 1) 男性の育児休業取得の促進に向けて、働き方を見直し、職場の環境を変えるために最も大きな力になるのは何だと思いますか。(〇はひとつだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 個人の意志 | 5. 労働組合 |
| 2. トップの決断 | 6. 世論 |
| 3. 景気 | 7. 少子化圧力 |
| 4. 法制度・政府の指導 | 8. その他 () |

問5 2) あなたが一番楽しいと思う子供の世話を具体的にお知らせください。

問5 3) あなたが一番苦手な子供の世話を具体的にお知らせください。

最後にあなたご自身及び奥様についてお伺いします

問1) あなたの年齢をお知らせください。(数値で記入)

--	--

 歳

問2) あなたの奥様の年齢をお知らせください。(数値で記入)

--	--

 歳 X. 配偶者はいない

問4) あなたのお子様の性別と年齢をお知らせください。

〇をつけてください

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 第一子 (男・女) () 歳 | 第五子 (男・女) () 歳 |
| 第二子 (男・女) () 歳 | 第六子 (男・女) () 歳 |
| 第三子 (男・女) () 歳 | |
| 第四子 (男・女) () 歳 | |

問5) 近所あなた方ご夫婦の子育てを手伝ってくれる方はいらっしゃいますか。(〇は1つだけ)

1. いる 2. いない

問3) 近く(日常的に行き来のできる所)に、あなたまたは配偶者のご両親がお住まいですか。(〇はいくつでも)

1. 同居している 2. 近くに住んでいる 3. 近くにはいない 4. 親はいない

問6) あなたのお住まいの地域の特性をお知らせください。(○は1つだけ)

1. 郊外 2. 住宅地 3. 商業地 4. その他 ()

問7) あなたの片道の通勤時間をお知らせください。(数値で記入)

--	--	--

 分

問8) あなたの最後学歴をお知らせください(中退は卒業とみなしてお答えください)。(○は1つだけ)

1. 中学校 4. 専門学校
2. 高等学校 5. 大学、大学院
3. 高等専門学校 6. その他 ()

問9) あなたのお仕事の「職種」をお知らせください。(○はひとつだけ)

1. 公務員(一般職) 5. 教員
2. 公務員(管理職) 6. 団体職員
3. 会社員(一般職) 7. その他 ()
4. 会社員(管理職)

付問1) あなたの所属部門をお知らせください。(○はひとつだけ)

1. 管理部門 5. 販売部門
2. 企画部門 6. 研究開発部門
3. 営業部門 7. その他 ()
4. 製造部門

付問2) あなたが勤務している事業所(本社、支社、支店等)には何名くらい社員の方がいらっしゃいますか。
(数値で記入)

--	--	--	--

 人

問10) あなたの奥様のお仕事について、以下の中からあてはまるものをひとつだけお知らせください。
(○はひとつだけ)

1. 結婚とともに仕事を辞めた
2. 出産が理由で仕事を辞めた
3. 出産が理由でいったん仕事を辞めたが、再び働き始めた
4. ずっと仕事を続けている
5. 結婚前から仕事はしていない
6. 奥様はいない

付問1) 奥様の現在の就労形態をお知らせください。(○はひとつだけ)

1. 勤め人(正社員) 2. 勤め人(正社員以外) 3. 在宅で就労 4. その他(具体的に:)

付問2) あなたと奥様の収入は、どちらがが多いですか。(○はひとつだけ)

1. 自分の方が多い 2. 大体同じ 3. 奥様の方が多い